

# 上小だより

令和 8 年 6 月 1 6 日  
文責 校長 山本祥博

育成をめざす3つの力「**やってみる心 (挑戦)**」「**思いやりの心 (協力)**」「**がんばりぬく力 (自律)**」

## 「思いやりの心 (協力)」を学ぶ

「協力することの大切さと難しさを学びました。」

これは、先日行われた5年生集団宿泊教室の退所式の際、「2日間の集団宿泊教室で学んだことは何ですか。」という問いかけにある児童が答えてくれた言葉です。計画されたすべての活動は、グループあるいは学級で取り組みます。ペーロン船を進めるためには全員がリズムと動きを合わせなければ進みません。疲れても自分だけ休むわけにはいきません。そんな時は自然とお互いで励まし合う声が行き交います。暗い中、地図を頼りに目標物を探して歩きまわるナイトゲームでは、明かりを灯す人、地図を見ながら行き先を見つける人、恐怖心を和らげようと明るい声を出す人、グループ内でやるべきことを考え、それぞれの役割を務めます。磯観察では、挟みうちをしてかにやドカリ、その他初めて見る生き物を捕まえ、すぐに調べ、解明していきます。わずか2日



間でしたが、触れることのできない自然、初めての体験、仲間とのふれあいを通して、さまざまなことを感じ、学びました。

今年度も「育成をめざす3つの力」の一つに「思いやりの心 (協力)」を掲げています。一人の力はわずかでも力を合わせると1 + 1 が3にも4にもそれ以上にもなります。この集団宿泊教室で、協力することの「大切さ」だけでなく「難しさ」も感じ、学んだことに、今後のさらなる成長、高学年としてのリーダーシップを感じた2日間でした。



### 避難訓練 (引き渡し訓練)、お世話になりました

これからの時期、毎年のようにどこかで豪雨被害や台風、地震による災害が起こっています。今年も大きな被害もなく、無事に過ごすことができるよう願っていますが、災害はいつどのような形で起こるかわかりません。私たちができることは、万が一のことを想定しながら、命を守る、安全を守る、被害を最小限にとどめるために、日頃から考え、備え、訓練することです。先日、全ご家庭、学童保育のご協力のもと、保護者への引き渡しを含む避難訓練を実施しました。大雨を想定した訓練からするとあいにく(?)の晴天でしたが、子供たちも職員も「子供の命を守りぬく」という共通認識のもと、危機状況をイメージしながら、緊張感もって取り組むことができました。ご多用な中、ご協力いただきありがとうございました。



※学校HPにはカラーで掲載しています。どうぞご覧ください。